



気候変動対策局の取組

資料1-1

気候変動リスク分析事業

那須地域定住自立圏を対象として、住民が気候変動リスクを自分事と感ずることができるように、近い将来（2030年、2050年など）の気候変動リスクを分析

- ・ 洪水リスクを分析
- ・ 降雪量など観光へのリスクを分析
- ・ 構成市町の農作物等へのリスクを分析
- ・ 気候変動リスクを住民にわかりやすく提示するためのリーフレットの作成

		2030年	2050年
	夏場の搾乳量	1% 減少 ↓	2% 減少 ↓
	ホウレンソウ収穫量	減少なし	4% 減少 ↓
	水稻収穫量	3% 減少 ↓	4% 減少 ↓
	ネギ収穫量	減少なし	1% 減少 ↓

【参考】令和3年度分析結果（分析範囲：市内）

《令和5年度》

分析結果を生かした住民への普及啓発を検討中。

市民参加による気候変動情報収集・分析業務

降雨の将来予測に基づくEbAによる水害対策強化・リスク軽減の検討・評価

- ・ 水害リスク（内水氾濫を含む）の将来予測
 - ・ 森林、田畑など、土地利用状況に応じた貯水力を分析
 - ・ 森林、田畑などを活用して、水害対策を強化する適応策を検討
 - ・ 市民向けワークショップを開催
- ※ 専門的な知見を持つ宇都宮大学（委託先）が分析

«令和5年度»

宇都宮大学「地域プロジェクト演習」を活用して、

「森林×気候変動 ～地域の課題解決に向けて～」をテーマに実施予定

市内10地点の熱中症予防情報発信

令和3年度スマートライティング事業で設置した環境センサーを活用して、みるメールと特設サイトで、市内10地点（中学校付近）の熱中症予防情報を発信

○ 実状にあった熱中症予防

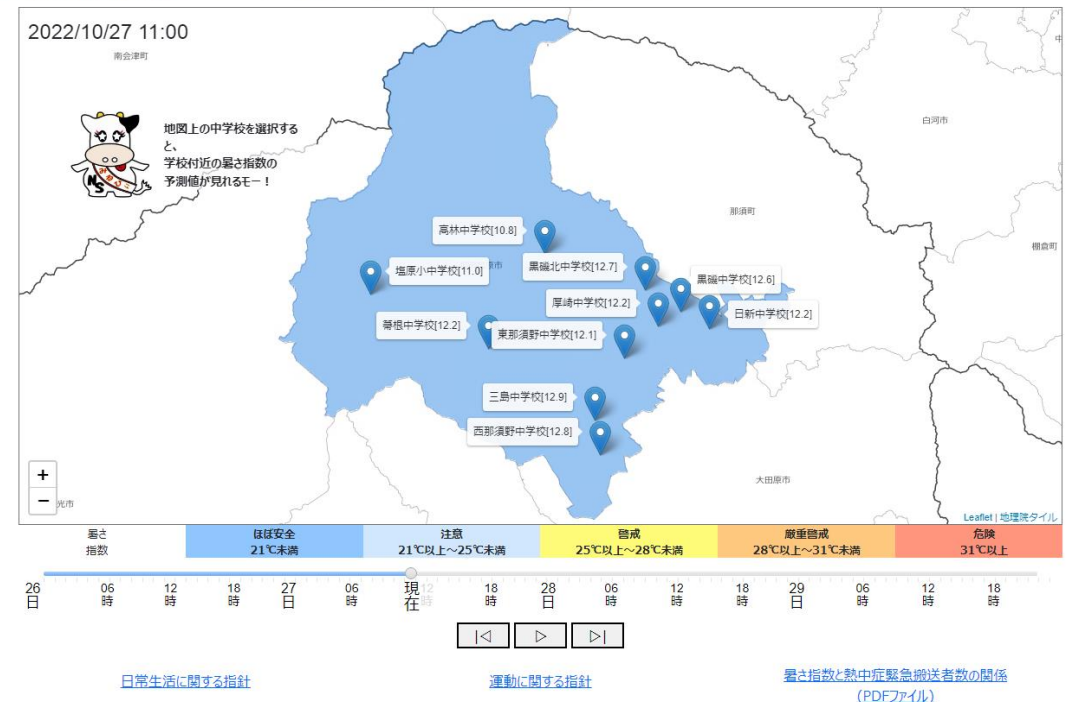
市民が今いるところ、これから出掛けるところの熱中症予防情報をもとに、実状にあった身近な熱中症対策が可能。

○ いつでも・簡単 熱中症予防情報を入手

特設サイトを開設したことで、市民がいつでも、簡単に熱中症予防情報を入手可能。

那須塩原市 熱中症予防情報

暑さ指数マップ(実況/予測) 暑さ指数グラフ(実況/予測) 実況値一覧表 全国暑さ指数マップ(予測)



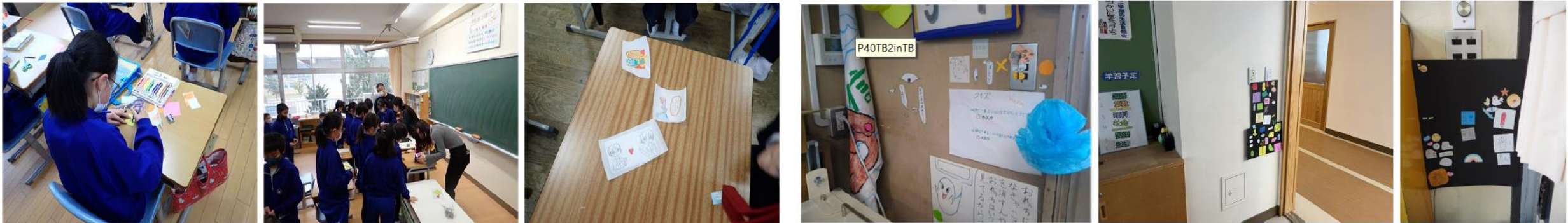
《令和5年度》

暑さ指数の精度向上など、市内10地点の熱中症予防情報の充実を図り、継続して発信する。

ナッジに関する実践型環境学習

脱炭素型のライフスタイルへの転換を目指し、市内小中学校（黒磯小学校、埼玉小学校、西那須野中学校）において、児童・生徒に自らナッジの仕掛けを考えてもらう実践型環境学習を実施

- ・ 学校施設における電気の消費エネルギー量を削減
- ・ 児童生徒の省エネに対する意識や習慣の変化を促し、家庭での脱炭素化を推進



実践型環境学習のイメージ

《今後の展開》

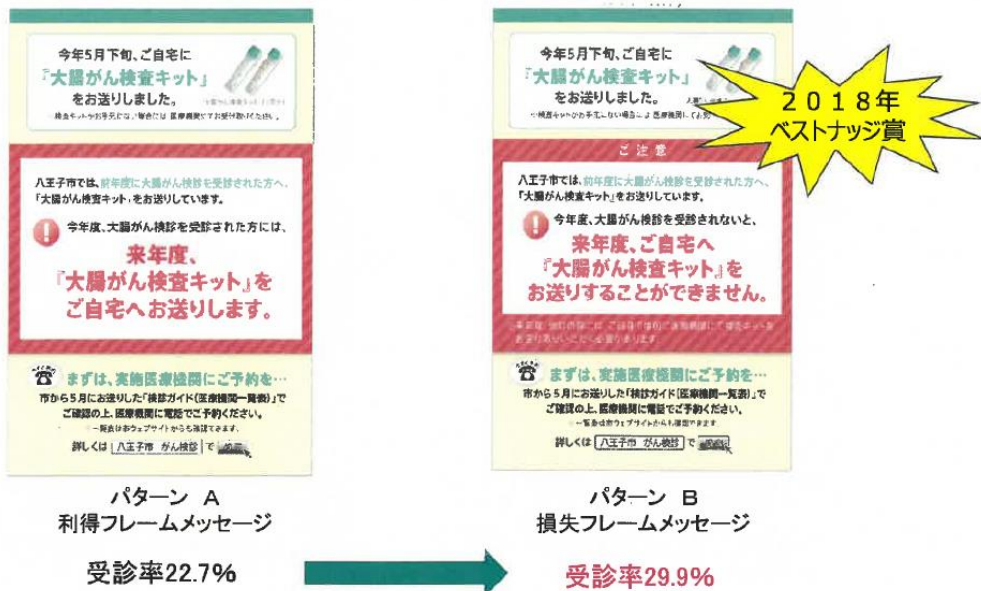
宇都宮大学（委託先）が実施結果をまとめ、実施しなかった学校への横展開を検討

ナッジに関する実践型環境学習

ナッジとは、人々が自発的によりよい選択ができるように手助けする手法。

近年、社会的課題の解決に向けて、従来のような「法規制による強制」や「補助金などの金銭的インセンティブ」などによらずに人々の行動変容をそっと後押しする手法として注目されている。

- がん検診の受診勧奨で、利得から損失を強調したメッセージに変更
- 行政のコストやオペレーションには実質的な変更なしで施策の効果を改善



(出所) 第5回日本版ナッジ・ユニット連絡会議資料4 (2) 健康・医療分野: 東京都八王子市の取組 (がん検診受診率改善)

- 犬の糞で人件費、清掃費がかかるだけでなく、街並みの美観が損なわれる
- 車の駐車違反のように1本20円のチョークで「見ているぞ」と飼い主に働きかけ
- 宇治市役所職員の自主的な取組から始まって、市民自らも真似をするようになり、糞害激減



気候変動対策計画

○「緩和」と「適応」を一体的に進める計画

令和4年3月に「地球温暖化対策実行計画【区域施策編】」と「気候変動適応計画」を統合し、策定

○ 計画期間は、2022年度から2030年度までの9年間

- ・ 目標 温室効果ガス排出量
2030年度 50%削減（2013年度比）
2050年度 実質ゼロ

・ 重点プロジェクト

- (1) 地域新電力の設立
- (2) 脱炭素先行地域の構築
- (3) 運輸部門からの温室効果ガス排出量削減対策
- (4) 気候変動の影響の把握と理解促進

5 重点プロジェクト

5-2 重点プロジェクト

(4) 気候変動の影響の把握と理解促進

地域の実情に応じた適応策を市民とともに推進するため、気候変動の影響を把握し、積極的に情報を発信することで、市民の理解を深める。

■ 主な取組

- ・ 気候変動影響の情報収集
- ・ 気候変動影響によって発生する災害などのリスクの把握
- ・ 気候変動影響への適応策の検討
- ・ 気候変動影響及び適応策の市民への普及啓発

■ 指標

- ・ 適応の取組（気候変動の影響に負けずに暮らしていくための取組）を実践している市民の割合

■ 目標

- ・ 令和2(2020)年度 8.2% → 令和8(2026)年度 50%

Copyright © Nasushiobara City. All rights reserved.

